

社会資本総合整備計画 中間評価書 (H26-P3)

平成29年 3月31日

計画の名称	3	雪寒地域における安心・安全な通行環境の整備										重点配分対象の該当		-			
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）					交付対象		京都市									
計画の目標																	
雪寒地域において、冬期の安心・安全な通行空間を確保するため、効果的な除排雪と適切な路面管理等を推進する。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
・ 雪寒地域における冬期の通行止め時間の減少																	
定量的指標の定義及び算定式																	
雪寒地域における冬期の通行止め時間の減少 (通行止め時間の減少) = (現況の通行止め時間) - (事業後の通行止め時間)												定量的指標の現況値及び目標値			備考		
												当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)			
												2,700時間/年	2,675時間/年	2,650時間/年			
全体事業費	合計 (A + B + C + D)	78	百万円	A	78	百万円	B	0	百万円	C	0	百万円	D	0	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0%

中間評価

○中間評価の実施体制，実施時期

中間評価の実施体制	中間評価の実施時期	平成28年度末
京都市で評価を実施	公表の方法	京都市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

[illegible]

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体系費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
									合計								

C	效果促進事業
---	--------

[illegible]

D 社会資本整備(内河川・池湖)整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		平成28年度に除雪が追いつかないほど多くの積雪があったが、その他の年では、速やかな除雪を行った結果、雪寒地域における冬期の通行止め時間を例年通りに抑えることができた。		
II 定量的指標の達成状況	指標①（雪寒地域における冬期の通行止め時間の減少）	中間目標値	2,675時間/年	目標値と実績値に差が出た要因 平成28年度に除雪が追いつかないほど多くの積雪があったため
		中間実績値	2,730時間/年	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）				
3. 特記事項（今後の方針等）				
・引き続き、限られた財源を有効に活用し、効率的・効果的な除雪を実施していく。				

参考図面（防災・安全交付金）

